

令和6年度 学校園評価シート

学校園名

加古川市立鳩里保育園

1 保育理念	一人一人を大切にし、自分らしさを発揮するこどもを育てる
2 基本方針	○一人一人のこどもの生き生きとした生活と遊びを育む ○一人一人の育ちと集団としての育ちを大切にする ○日々の保育実践を振り返り、保育士及び保育園の自己評価体制を築いていく ○すべての保育士、調理員が協働体制を組んで、こどもの育ちを支援していく ○異年齢保育を通して、育ち合う仲間関係を築いていく ○小学校とのなめらかな接続を図り、5歳児の育ちを支援していく ○食育を通して、心身の健康やよい習慣が得られるようにする
3 保育目標	○生活リズムを整え、健康な心と体を育む ○遊びを通して人と関わる喜びを感じ、信頼感を育む ○自然と触れ合い、感じる心や伸び伸びと表現する力を育む ○どんなことにも挑戦する意欲を育む

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生活に必要な基本的生活習慣を身に付け、健康な心と体を育む	○健康や安全に生活するための約束を知り、守ろうとする。 ○自分から進んであいさつをする。 ○様々な体を使った遊びを経験し、伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 ○自分なりの目標に向かって繰り返し挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。	B	・健康や安全に生活するための約束事がわかり、守ろうとする姿が見られる。様々な災害を想定した避難訓練を積み重ねたことで、命を守るための行動も身に付いてきている。あいさつはできる子が増えているが、今後は自分から進んであいさつができるように、保育者も気持ち良いあいさつを心掛け、継続して働きかけていきたい。 ・伸び伸びと体を動かして遊べるよう、年齢に応じた運動遊びを保育に取り入れた。少し難しいことにも、励ましたり気持ちに寄り添ったりしたことで、あきらめずに何度も挑戦しようとする意欲に繋がった。できた喜びや達成感を味わうことができるように、今後も関わっていききたい。
様々な人と関わる喜びを感じ、思いやりや信頼感を育む	○様々な人と関わり、親しみや感謝の気持ちをもつ。 ○友達や異年齢児と関わる中で、優しさや思いやりの気持ちをもつ。	A	・野菜ボランティアの方と、年間を通して一緒に栽培や収穫を楽しんだ。また、楽器演奏や絵本ライブのボランティア、交通安全教室、消防署の方など様々な方と触れ合う中で、親しみや感謝の気持ちをもつことができた。 ・中高生と触れ合い、憧れや親しみの気持ちをもつことができた。園内でも遊びの中で異年齢と交流する機会を多くもち、年下の友達に優しく接するなどの思いやる姿が見られた。5歳児は鳩里幼稚園の園児と交流し、互いの園で遊ぶ中で刺激を受け合い、親しみをもって交流することができた。
身近な自然や社会事象に対する興味や関心を育む	○季節の移り変わりや事象に興味や関心をもち、身近な自然を遊びに取り入れて遊ぶ。 ○生き物に関わる中で、親しみをもったり、命の大切さに気付いたりする。 ○野菜の栽培や収穫を体験し、様々な食材に興味や関心をもつ。	A	・季節の事象や自然物を遊びに取り入れ、試したり工夫したりできるように環境を準備したことで、興味や関心が広がった。今後もこども達の発見や感動に寄り添い、自然に触れる機会を大切にしていきたい。 ・様々な小動物に触れたり、世話をしたりすることで、その面白さや不思議さを感じ、命の大切さにも気付くことができた。 ・年間通して野菜の栽培を行い、生長を楽しみにして世話をしたり、収穫の喜びを味わったりした。自分達で収穫した野菜を給食室で調理してもらい食べたことで、より食材に興味をもったり、苦手なものも食べようとする姿に繋がった。
自分の思いを表現する力を育む	○見たこと、感じたことを体や言葉で表現し、思いを伝え合いながら、イメージを共有して遊ぶ。 ○人の話をしっかりと聞く態度を養う。 ○自分の考えを言葉で伝えたり、友達の思いに気付いたりする。	B	・日々の活動において、自分の思いを言葉や身振りで伝えようとする姿を認め、伝わる喜びが感じられるような関わりに努めた。お話遊びでは、思いを伝え合いながらイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わった。 ・友達の良さや思いにも気付くことができるように、援助を行った。自分の思いを伝えるだけでなく、人の話もしっかり聞くことができるように、今後も関わっていききたい。
園の取り組みを発信し、保護者と共有する	○園の取り組みやこども達の活動の様子を保護者に発信し、こどもの育ちを共有していく。 ○家庭と協力しながら、こども達の成長を見守っていく。	B	・ドキュメンテーションを掲示したり、写真を使ったクラスだよりをキッズリーで配信したりして、視覚的にわかりやすく保護者に園でのこども達の様子を伝えることに努めた。また降園時や行事等で、こども達の成長を言葉でも伝え、保護者と共有できるように意識して取り組んだ。行事後のアンケートでは、こどもの成長を感じてくださった保護者も多くおられ、今後も取り組みを続けていきたい。